

間違いだらけの「嘉悦学園報告書」

写真は昨日 27 日レポートで紹介した第 33 回「大都市制度協議会」(26 日、大阪府庁、産経新聞 27 日朝刊)。写真のうしろ、狭苦しい席で傍聴していたが、委員の様子もあまり見えなかった。



日本経済新聞 27 日朝刊は他紙に比べて社会面で大きく取り上げ、「都構想 災害対応で対立」「住民投票 争点そろう」などの見出しが並ぶ。住民投票に向けた主な争点の最初に、経済効果を挙げている。

都構想を巡っては、これまで経済効果や庁舎整備のコストなどについて議論が交わされてきた。経済効果について維新側は、10 年で最大 1 兆 1 千億円強の歳出削減が可能という府・市が委託した専門家の説明を支持。自民はシミュレーションのやり直しや第三者による検証を求めたが、2019 年 8 月に開かれた会合 1 回のみ議論にとどまり、実現していない。

今回の法定協の参考資料として、「大都市制度(総合区設置及び特別区設置)の経済効果に関する調査検討業務」の調査結果に係る報告書の一部訂正について(ご報告)が副首都推進局から出された。昨年 8 月 26 日開催の第 25 回協議会において提出された上記報告書の内容の一部に誤り等があり、訂正を行ったという。写真の訂正一覧表によると、18 件の誤記とそのほか 4 件を修正。「実際の効果額の算出は正しい数式で計算されていることを確認しており、この訂正による効果額の算出結果に影響はありません」と書かれている。

№	訂正一覧表	訂正前	訂正後
1	p. 22 16 行目	歳から A_1	歳から A_1
2	p. 22 8 行目	歳からの歳入額	歳からの歳入額
3	p. 37 12-13 行目	$a_{11}A_1 + a_{12}A_2 + F_1 + E_1 - M_1 = X_1$ $a_{21}A_1 + a_{22}A_2 + F_2 + E_2 - M_2 = X_2$	$a_{11}A_1 + a_{12}A_2 + F_1 + E_1 - M_1 = X_1$ $a_{21}A_1 + a_{22}A_2 + F_2 + E_2 - M_2 = X_2$
4	p. 38 1, 2 行目	$m_1 = m_1(a_{11}A_1 + a_{12}A_2 + F_1)$ $M_1 = m_1(a_{11}A_1 + a_{12}A_2 + F_1)$	$m_1 = m_1(a_{11}A_1 + a_{12}A_2 + F_1)$ $M_1 = m_1(a_{11}A_1 + a_{12}A_2 + F_1)$
5	p. 40 17 行目	$\log(X) = A_1 + \beta_1 \log(\text{pop}) + \beta_2 \log(\text{area}) + \beta_3 \log(\text{pop})^2 + \beta_4 \log(\text{area}) + \beta_5 \text{density}$	$\log(X) = A_1 + \beta_1 \log(\text{pop}) + \beta_2 \log(\text{area}) + \beta_3 \log(\text{pop})^2 + \beta_4 \log(\text{area}) + \beta_5 \text{density}$
6	p. 47 1 行目	歳から A_1	歳から A_1
7	p. 55 1-2 行目	注用) 内閣府「都道府県別民間資本ストック」より、大阪府「都府県別民間資本ストック」より、大阪府「都府県別民間資本ストック」より、大阪府「都府県別民間資本ストック」より	注用) 内閣府「都道府県別民間資本ストック」より、大阪府「都府県別民間資本ストック」より、大阪府「都府県別民間資本ストック」より、大阪府「都府県別民間資本ストック」より
8	p. 56 1 行目	注用) 内閣府「社会資本ストック報告書」より、大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 内閣府「社会資本ストック報告書」より、大阪府「社会資本ストック報告書」より
9	p. 63 (欄外) 2 (欄外) 2	1000億(1000億) β^1 β^2	1000億(1000億) β^1 β^2
10	p. 70-71 (内生変数の例)	15歳	15歳
11	p. 65 7 行目	総歳入、実質金利は 2015 年度の値を用いる。	総歳入、実質金利は 2015 年度の値を用いる。
12	p. 66 9 行目	「地域経済モデルの検証と応用-地域経済モデルの検証と応用-」	「地域経済モデルの検証と応用-地域経済モデルの検証と応用-」
13	p. 67 13 行目	「社会資本ストックの再検討」	「社会資本ストックの再検討」
14	p. 67 14 行目	注用) データによる財政・経済シミュレーション	注用) データによる財政・経済シミュレーション
15	p. 67 (注) 1 (注) 1	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より
16	p. 67 (注) 2 (注) 2	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より
17	p. 67 (注) 3 (注) 3	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より
18	p. 67 (注) 4 (注) 4	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より
19	p. 67 (注) 5 (注) 5	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より
20	p. 67 (注) 6 (注) 6	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より
21	p. 67 (注) 7 (注) 7	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より
22	p. 67 (注) 8 (注) 8	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より	注用) 大阪府「社会資本ストック報告書」より

確か嘉悦学園は 1000 万円で「都」構想の経済効果の調査を受託したと思う。その報告書が間違いだらけであり、報告書として失格であることが公にされた。調査を委託した大阪市は嘉悦学園に抗議すべき筋合いのものである。「訂正による効果額の算出結果に影響ありません」などと、よく言えたものだ。法定協としても、経済効果の議論をやり直すべきだ。

昨年 8 月 27 日にレポートしたように、市役所で開催された第 25 回法定協を傍聴して、嘉悦学園の 3 人の担当者の説明を聞いた。何回も繰り返された「学術的に」という言葉に違和感を覚えた。9 月 15 日レポートでは、毎日新聞 12 日夕刊に掲載された報告書に対する私のコメントを紹介している。とにかく杜撰で間違った経済効果の試算だ。経済効果一つとっても、議論すべき課題は多い。これで住民投票に突き進むのは拙速だ。

(2020 年 2 月 28 日)